

「第19回 日経アニュアルリポートアワード」 優秀賞を2年連続受賞

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)が発行する「コーポレートレポート2015」が、「第19回 日経アニュアルリポートアワード」において2年連続で優秀賞を受賞しました。

「日経アニュアルリポートアワード」とは

日本企業の発行するアニュアルリポートの更なる充実と普及を目的として、日本経済新聞社が1998年より毎年実施するものです。ファンドマネジャーやアナリストらの審査員が参加企業のアニュアルリポートを審査し、その採点やコメントがフィードバックされます。得点上位企業を対象に審査委員会による2次審査を実施し、優秀品が表彰されます。2016年度は85件の応募があり、グランプリ1社、準グランプリ4社、優秀賞14社、特別賞2社が選ばれました。

当社の選定理由

当社が受賞した理由として以下のことが評価されました。(審査員コメントより抜粋)

- ① 戦略の変化と併せて、時代の変化に応じて変革する「変化対応力」を記述しており、理解しやすい。
- ② 各ブランドの特徴や戦略、損益状況、およびそれらを横断的に支える開発や販売など自社の強みや特徴を丁寧に説明しており、理解が深まる。
- ③ 地域社会の発展、文化芸術へのサポートを通して企業価値向上に間接的に寄与するほか、環境保全に対しても積極的に取り組んでいることがよくわかった。
- ④ 「社外役員ミーティング」の事例紹介等、透明性の高いガバナンスを目指そうと努力している姿勢が窺える。また非財務指標についても独自の項目の開示がある。
- ⑤ 自社の強みなどがしっかり分析されており、ファイナンシャル・サステナビリティがしっかりアピールできている点は評価できる。

自社の強みを常に磨き、持続的に成長していこうとする強い意志、進化しようとしている前向きな力を感じるレポート。またそれを実現するために、特に人材戦略や能力を発揮できる場の提供など、社長が重点的に進めている内容について丁寧に記述されており長期投資家にとって説得力ある内容となっている。



ポーラ・オルビスホールディングスは、2020年の目指すべき姿として、「連結売上高 2,500 億円以上」「海外売上高比率 20%以上」「営業利益率 13～15%」を設定しております。

この長期ビジョン達成に向け、引き続き「国内のさらなる収益基盤強化と海外展開の加速」「資本効率改善による企業価値向上」に努めてまいります。今回の受賞を励みとし、一層の改善に努め、今後も幅広いステークホルダーの皆様へ有益な財務・非財務情報を発信してまいります。

「コーポレートレポート2015」は弊社HPから閲覧いただけます。

<http://ir.po-holdings.co.jp/ja/Library/AnnualReport.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543